

他人事ではない盗難

広島県東広島市立松賀中学校 3年 山田 塔子



16万8,703件。これは何の数字だと思いますか。この数字は、令和元年度に全国で発生した自転車盗難の件数です。単純計算すると一日に462台もの自転車が盗まれたということになります。これをニュースで見たときは、こんなに多いのかぐらいにしか考えていませんでした。皆さんの中にも私と同じようにどこか他人事としてとらえている人もいると思います。しかし私にはその考えが変わる出来事がありました。それは、兄の自転車が実際に盗まれたことです。

去年の十月頃、いつも通り駅から帰ろうとしたところ、兄の自転車はなくなっていたそうです。これを聞いたとき、まさか兄の自転車が盗まれるとは思ってなくてとても驚きました。それと同時にどうせすぐ見つかるだろうと思いました。

兄の自転車が盗まれた原因は大きく二つありました。

一つ目は、ちゃんとした駐輪場にとめていなかったことです。電車で遅れそう、借りていた駐輪場にとめず適当な場所にとめて行ったそうです。

二つ目が、鍵やチェーンをかけていなかったことです。こちらも同様に電車で遅れそうで慌てていて鍵やチェーンをかけずに行ってしまったそうです。

どちらの原因も兄の不用心さが顕著で、盗まれても仕方ない状況だったと思います。いくら急いでいたといっても、鍵すらかけないのは防犯意識が低いと思いました。

自転車の盗難は万引きなどと違って、周りからはチェーンを壊したりしない限り盗みをしていると分かりません。そのため周りの人が気付いて止めてくれる可能性は低いと言えるでしょう。さらに一度盗まれてしまった自転車は分解され、ネットオークション等で売られてしまう場合もあり、返ってくることは少ないそうです。実際、兄の自転車は父が色々な場所の駐輪場を探しましたが見つかりませんでした。売られてしまったかもしれないと思うと憤りを感じます。

また、自分がネットオークションやフリーマーケットで物を買うときにそれが盗まれた物なら、知らなかったといっても盗難に荷担したようで嫌な気持ちになると思います。盗んだ上に転売する行為は特に悪質で、このようなことをする人がいると信じられません。

周りも気付きにくく、返ってくることは少ない自転車盗難。だからこそ鍵やチェーンをかけること、安全性の高い駐輪場にとめることなどの基本的な防犯

対策をしっかりとすることが必要だと思いました。それが私たちにできる最大の方法ではないでしょうか。他にも防犯カメラを増やしたりして万が一盗まれても行方が分かる工夫も必要だと思います。

その後、兄は新しい自転車を買ってもらっていました。家でも鍵とチェーンを必ずかけるようになりました。また、今まで言われて閉めていた家の鍵も自ら閉めていて、防犯意識がとても高くなったように見えます。

今までどこか他人事だった自転車の盗難が身近に起き、自分が被害に遭う可能性もあると強く感じました。

自転車に限らず、物を盗むことは立派な犯罪であり、自分がしないのはもちろんのこと被害に遭わないよう防犯意識を高めていこうと思いました。これをまわりの人にも広げるために学校等で自転車に鍵をかけていない人に呼びかけをしていきたいです。